

新年度を迎えて

校庭の桜が咲き誇ってきました。今年度は6年生の進行による入学式で、新入生12名を内外海小学校に迎えました。1年生の元気な返事や、人の顔をしっかりと見て話を聴いている姿を見て大変頼もしく感じました。

また4年生に新しい友だちが加わり、全学年で64名、教職員13名という、新たな装いでの出発となりました。今年度も教職員一同力を合わせて様々な教育活動にあたります。どうぞよろしく願いいたします。



教育目標について

今年度の教育目標を「**Let's make our dreams come true 夢に挑戦**」としました。昨年度は、夢をもつことの素晴らしさ、夢に向かって諦めずに努力すること、可能性を信じて突き進む意欲の尊さを語ってきました。

子どもたちが夢を持ち、実現しようとするためには、自らよく学び、よく鍛え、心やさしい子をめざさなくてはなりません。

今年度も方針は変わりませんが、学校目標をより子どもたちにわかりやすいように上記の表現としました。

保護者のみなさんも夢をお持ちの方が大勢おられることでしょう。そして実現にむけて挑戦しておられる方も多いと思います。そのことを是非、子どもに話してほしいと思います。話すことにより、親子の絆がますます深まっていくのではないのでしょうか。夢を持つこと挑戦することに年齢制限はありません。

いつでも夢を・

教職員の紹介

校長	西本 弘一	多田
教頭	西川 芳夫	小浜大原
教務	吹田 幸嗣	小浜神田
1年担任	竹中 尚美	加茂
2年担任	井上千鶴子	小松原
3年担任	桂田久美子	小浜男山
4年担任	松崎 信枝	小浜生玉
5年担任	池田 恵子	小浜住吉
6年担任	地村 健一	城内
養護教諭	木崎 民恵	小浜大宮
事務職員	藤本 裕恵	須縄
調理員	高鳥 照子	谷田部
調理員	村上加代美	加尾

ふるさと

育ったところ 必ずしも家庭ではない
心を育てられたところが 家庭である
学んだところ 必ずしも学校ではない
よき師よき友にめぐり会えたところが
学校である

生まれたところ 必ずしも故郷でない
心をとどめたところが 故郷である

この文は、どんなに豪華な家や校舎に、住んだり学んだりしても人間がいきつくところは、真に心を育ててくれたところであると教えています。

地域・学校・家庭がそれぞれの立場で子育ての責任を相応に分担し、社会全体で優しくも厳しく子どもの心を育まなくては、子どもの心には家庭も学校も故郷も「ふるさと」として宿らずに大人になってしまうのかもしれない。

国際化の中で子どもたちは、住み慣れた地域を離れて生きていくことにもなります。そんな時に、親や兄弟のこと、先生、友だちのこと、故郷の自然のことを懐かしみ郷愁、望郷の念にとられることがあるでしょう。

未来からの留学生、地域の宝物である子どもたちに、「よきふるさと」を提供するのは大人の責務です。

保護者、地域の皆様、共に頑張りましょう。